

# ボランティア活動 (1)文化財保護環境美化整備活動 (2)景観保護環境美化活動(地域清掃)

伝統文化の保存、継承のため地元の国指定重要文化財の環境美化整備活動（清掃活動など）と地元の清掃活動を職員や利用者、地域の学生などと毎月1回（第4金曜日）実施し、地域の美化環境づくりに取り組んでいる。

社会福祉法人 **あいあい**

〒700-0823 岡山県岡山市丸の内一丁目2番12号 旧岡山市立内山下小学校内  
TEL：086-234-2530 / FAX：086-234-2530

## 【法人の概要】

法人設立年：平成15年11月  
経営施設、事業（数）：1施設 1事業  
経営施設、事業（種別）：  
知的障害者小規模通所授産施設…1

## 【法人の理念・経営方針】

- (1) 多様な福祉サービスがその通所者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫する。
- (2) 通所者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。
- (3) 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実・効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努める。

## 実施施設の概要

施設名：青葉作業所  
施設種別：小規模通所授産施設  
活動開始年：平成14年4月  
活動の頻度・時間：月1（回）、1回あたり1（時間）  
活動の対象者：通所者（利用者）職員、家族、他（地域の中学生・高校生）



## 活動実施の背景、実施にいたった理由

活動実施に至る経緯は以下の通りである。

- (1) 平成13年8月29日、岡山市協働まちづくり条例により審査会より、特定非営利公益事業（団体）と特定され、行政財産である旧岡山市立内山下小学校施設の使用許可を受けた。毎年度活動状況、財産状況の報告をしている。
- (2) 平成14年度4月1日より、旧岡山市立内山下小学校施設の使用を開始した。その際、旧岡山市立内山下小学校内にある国指定重要文化財（1923年指定）「岡山城西の丸西手櫓」周辺は1m以上の草々に囲まれていた。そのため、行政施設を使用させていただく事への感謝をこめて、ボランティア活動として関係課の許可を受け、文化財周辺の美化活動に取り組むこととした。
- (3) 平成15年11月5日 社会福祉法人あいあい設立認可
- (4) 平成19年1月から平成19年7月までの県外（市外）からの文化財見学者の県名等は下記のとおりである。  
神奈川県、京都府、三重県、石川県、東京都、広島県、兵庫県、仙台市  
尾道市、津山市、高梁市、岡山市）等

## 実施内容

次頁「平成18年度ボランティア活動・記録」参照

平成18年度ボランティア活動 記録

1 目標			
(1) 力を合わせて、伝統文化の保存、継承へと環境づくりをする。			
(2) 心をこめて、美しくきもちよく歩行できる道路へと環境づくりをする。			
2 活動内容			
(1) 文化財保護環境美化整備活動			
(2) 景観保護環境美化活動			
3 地域社会活動			
(1) 旧内山下小学校内にある国指定重要文化財（1923年指定）「岡山城西の丸西手櫓」の環境美化整備活動、文化財関係周辺の草とり、清掃、説明書籍、立て看板の設置等安全で清潔な環境づくりに努力する。			
(2) 石川公園（岡山市）を中心に、北鶴見橋までと南東岡山城手前までを美しい景観とともにきもちよい歩行をしていただくことを願い清掃活動をし、環境づくりに努力する。			
4 ボランティア活動日			
原則 毎月 第4金曜日 13:10~14:10			
月 日(曜)	備考(場所等)	月 日	備考
1 平成18年4月28日(金)	①②③④⑤	8 11.25(金)	①②③④⑤
2 5.26(金)	①②③④⑤	9 12.21(金)	①③④⑤
3 6.23(金)	①②③④⑤	10 平成19年1月27日(金)	①③④⑤
4 7.28(金)	①②③④⑤	11 2.24(金)	①②③④⑤
5 8.25(金)	①②③④⑤	12 3.24(金)	①②③④⑤
6 9.29(金)	①②⑤	13 3.31(金)	反省会(評価・課題)
7 10.28(金)	①②③④⑤		
備考			
①岡山城西丸西手櫓周辺 ②西丸庭園 ③石山公園			
④北鶴見橋～岡山城手前 ⑤旧岡山市立内山下小学校内 記念樹周辺等			

活動効果

(1) 本作業所は知的障害者の就労の場である。地域社会で就労生活を続けられるように支援する一環としてボランティア活動がある。ボランティア活動を通して、メンバーが経験することの重要性、焦らず、急がず続けることの大切さを認識できた。このことが就労の場にも深くかわり、障害の特性に応じた就労継続支援が確立してきた。また、その人らしい生活の場を広げ人間的成長にプラスする社会性が付与されている。

地域の方々からは、地元の環境美化につな

がる当活動に対して評価をいただいている。

(2) 平成18年2月9日

岡山市愛の泉まちづくり賞 受賞（岡山市長 高谷茂男様）

—岡山市内山下地区連合町内会長 推薦—

(3) 平成18年5月29日

財団法人 福武文化振興財団（理事長 福武 總一郎様）より

平成18年度 文化活動助成の賜金（環境づくり用具・備品の購入補助）

今後の課題

文化財等を守ることは難しいことであるが、今後とも本法人関係者で力を合わせて一生懸命にボランティア活動をする中で、

- (1) 伝統文化の保存、継承への環境づくり
- (2) 気持ちよく歩行できる道路への環境づくり等努力していきたい。

文化財は、どのような力をもっているのだろうか。文化財等を大切にす文化財等の愛護精神を培っていくことを心がけたいものである。自由と平和も文化の尊重から生まれるのではなからうか。そして、何よりもボランティア活動の性格「自発性」「社会性」「無給性」を持ち続けていきたい。

主な経費や財源の内訳（年間あたり）

＜主 な 経 費＞		＜概算額＞
項目	内訳	(金額)
1. 備品費	(1)環境づくり用具(一輪車、脚立等)	¥80,000
2. 消耗品費	(1)植樹用薬品、肥料、混合油等	¥20,000
	(2)文化財説明書、パンフケース等	¥30,000
	(3)活動時の上着、軍手、ナイロン袋等	¥60,000
	(4)お茶、コーヒー等飲物	¥20,000
3. 通信運搬費	(5)切手、はがき、用紙等	¥10,000
＜合 計＞		¥220,000

＜主 な 財 源＞		＜概算額＞
法人本部負担額（法人役員寄附）		¥50,000
施設負担額		¥10,000
その他		¥10,000
補助金収入 (補助金事業者:財団法人 福武文化振興財団平成18年度文化活動助成)		¥150,000
＜合 計＞		¥220,000